

## アイ・オー・データ機器 環境報告書 2011

Environment Activity 環境への取り組み

対象期間:2010年7月1日～2011年6月30日

## CONTENTS

- 01 会社概要、編集方針
- 02 社長メッセージ
- 03 環境方針
- 04 製品環境マネジメント
- 05 環境に配慮した製品作り
- 06 環境活動
- 07 地域貢献活動、環境コミュニケーション
- 08 データシート

アイ・オー・データ機器 環境情報は

→ <http://www.iodata.jp/company/environment/>

→ または弊社ホームページで

環境への取り組み

検索

## 会社概要 Corporate Information

社名 株式会社アイ・オー・データ機器  
 設立 昭和51年(1976年)1月10日  
 代表者 代表取締役社長 細野昭雄  
 資本金 3,588百万円  
 年商 45,334百万円(連結ベース 2011年6月期)  
 株式上場 JASDAQ(コードNo. 6916)  
 従業員 586人(連結ベース 2011年6月期)  
 554人(単体ベース 2011年6月期)  
 業務内容 PC周辺機器全般の開発、製造、販売  
 子会社 国際艾歐資訊股份有限公司  
 艾歐資訊横山(香港)有限公司  
 I-O DATA America, Inc.  
 関連会社 I-O & YT Pte. Ltd.  
 株式会社デジオン  
 クリエイティブ・メディア株式会社  
 (2011年6月30日現在)



第一ビル



第二ビル

## 事業案内 Corporate Information

パソコンやデジタル機器をお客様の用途や目的に合わせてカスタマイズする際の良きサポート役、これが周辺機器です。アイ・オー・データ機器は、この分野において、機能性やユーザビリティはもとより、感性に訴えるデザインにいたるまで、市場から高い評価を受けています。高度化・多様化の一途をたどる情報社会の中、約35年に亘り培ってきた技術を用いて、時代を見据えた製品展開により多様なニーズにお応えすることが私たちの不変なる使命であると考えております。お客様一人ひとりの声に耳を傾け、皆様のデジタルライフを支える存在となるべく、アイ・オー・データ機器は挑戦を続けてまいります。

### メモリー Memory



動画データの再生や編集、ゲームを楽しむ時も、大容量メモリーの増設で、あなたのパソコン環境もぐっと快適に。先端のDDR3SDRAMはもちろん、環境に配慮したRoHS指令対応モデルまで、豊富なラインアップを取り揃えています。

### ストレージ Storage



あなたの大切なデータを簡単に保存・管理するストレージ(記憶装置)分野でも、アイ・オー製品は市場から高い支持を得ています。最新の規格・メディアに対応したドライブに、アイ・オーならではの工夫を加えて、使いやすさと高い信頼性を兼ね備えた製品を提供しています。

### フラッシュメモリー Flash Memory



携帯電話やデジタルカメラは今や手放すことができない存在。写真画像や音楽データの保存・パソコンへの転送・友人との受け渡しなど、デジタルライフを楽しむ時にも、アイ・オー製品は大活躍。「高性能」と「使いやすさ」をあわせ持ったものだけを提供します。

### マルチメディア Multimedia



「録る・見る・創る」——映像&音楽を自分だけのライフスタイルで自由自在に楽しんでみませんか。地デジ放送の受信に欠かせない地デジチューナーや、インターネット動画配信に対応したSTB(セットトップボックス)、地デジ対応TVキャプチャーなど、パソコンの枠を超えた楽しみを実現します。

### ネットワーク Network



ネットワークを介したデータ共有や、データのバックアップに適したネットワーク接続ハードディスク(NAS)、そして、快適なデジタルライフに欠かせない無線LANや、携帯通信、次世代ネットワーク対応製品に至るまで、豊富にラインアップ。ホームからオフィスまで最先端のネットワーク環境の構築に貢献します。

### 液晶ディスプレイ LCD



人とパソコンとの一番大切なインターフェイス「ディスプレイ」。映像をありのままの鮮やかさで映し出す高い色再現性、スマートでスタイリッシュなデザイン、そして環境に配慮した「ECOモード」。これまでの液晶ディスプレイの常識を覆す、最先端の「美」がここにあります。

## 編集方針 Editorial Policy

東日本大震災による未曾有の原発事故が起こり、地球環境の保全の重要性を再認識した一年でした。また、今年の夏は電力危機も危惧されています。私たちは事業活動や製品開発の場で省エネを心掛けてきました。そのような環境保全活動の成果をこの環境報告書にまとめております。これからも、かけがえのない地球環境を子供たちの世代に残せるよう、更なる環境保全活動に取り組んでいきたいと考えています。皆さまからの要望やお気付きの事がありましたら、是非お聞かせください。

環境管理責任者

### ご意見、お問い合わせはこちらまで…

ホームページアドレス	http://www.iodata.jp/ 住所：〒920-8512
連絡先	石川県金沢市桜田町三丁目10番地 E-mail: environment@iodata.jp
発行月	2011年9月
次回発行予定	2012年9月
対象分野	環境、社会貢献
作成部署	品質保証部・広報販推部
対象範囲	株式会社アイ・オー・データ機器・本社 第1ビル・第2ビル・アイ・オー・ラボラトリ
対象期間	2010年7月1日～2011年6月30日(36期)



株式会社 アイ・オー・データ機器  
代表取締役社長 細野 昭雄

このたびの東日本大震災により、亡くなられた方々へのご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

今わが国では、大震災とその後の原発事故をきっかけに、全国各地で電力の逼迫が危惧されるとともに、今後のエネルギー計画の見直しが迫られています。

こうした中、当社では過去3年間に亘り無償配布を続けてまいりました、当社製品用の節電アプリ「エコ番人」の取り組みを筆頭に、業界に先駆け節電機能搭載モデルのラインアップ充実と、性能改良を重ねてまいりました。今一度、技術開発のみならず導入提案にも力を注ぎ、普及を提唱してまいりたいと考えております。また、事業活動面においても、環境保全活動の継続を通じた社員ひとりひとりの地道な改善活動の積み重ねが、当社の節電をはじめとする環境負荷低減に着実に寄与していることを実感しております。これからも、「事業活動と自然との調和共生」という当社環境方針のもと、環境との共生を図りながら持続的発展可能な社会の実現に向けて、先進の環境配慮型製品とサービスの開発を通じて当社ならではの貢献をすべく、努力してまいります。

私たちIT業界が“環境に対して果たすべき役割”は益々広がっております。当社は約35年に亘り培ってきた技術力と価値創造力を活かし、PC周辺分野において進めてきた環境負荷低減に向けた取り組みを、デジタル家電周辺分野にも拡大させ、環境面からも『皆様のデジタルライフを支える存在』へと進化を遂げてまいりたいと考えております。

今後ますますCSR（企業の社会的責任）が重要視されていくとの認識のもと、より広い視点で各ステークホルダーの皆様との連携を深め、引き続き企業としての社会的責任を果たしていく所存であります。

アイ・オー・データ機器の企業力をさらに向上させていくためにも、皆様からの忌憚のないご意見・ご指導をいただければ幸甚に存じます。

株式会社 アイ・オー・データ機器  
代表取締役社長

細野 昭雄

## 環境方針：事業活動と自然との調和共生

アイ・オー・データ機器は、パソコン周辺機器&デジタル家電のリーディングカンパニーとして情報社会への貢献を企業理念とすると共に、地球環境の保護・保全が世界的な重要課題であることを認識し、事業活動や製品の様々なライフサイクルを通して環境負荷低減を目指し、持続可能な社会の実現に向けて行動する。

### 環境行動方針

1. 環境マネジメントシステムの継続的な改善を図り、地球環境の保全・汚染の予防に努める
2. 環境関連法規制、業界の自主規制を順守し、利害関係者の環境への要求事項に対して積極的に取り組む
3. 社外の環境保護・保全活動・行事への協力・支援を通じ社会貢献に努める
4. 環境目標を定め、これを見直しながら以下の活動を推進する
  - (1) 製品の環境配慮設計を推進し、環境負荷の低減に努める
  - (2) 事業活動に使用する電力・灯油などの省エネ活動を実施する
  - (3) 事業活動で発生する廃棄物のリサイクル・適正処理に努める
  - (4) 事業活動で使用する生産材の効率的な利用に努める
  - (5) 環境に関する情報開示に努める
5. 当環境方針は、全従業員及び当社の為に働く全ての人に周知し、また、社外にも公開する

2009年7月

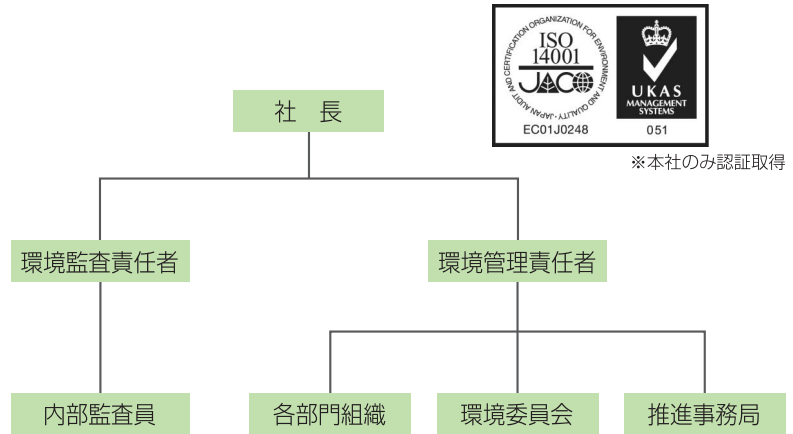
## 環境目標と実績

分類	環境方針	部門別目標	目標	実績	評価	
環境目的・環境目標に関する活動	(1) 製品の環境配慮設計を推進し、環境負荷の低減に努める。	PCGL2010の環境性能ランク「☆☆☆」を取得製品使用を1製品以上開発する。	1製品以上	1製品	☺	
		チューナー付製品を開発する場合に多段階評価ラベル「☆☆☆」以上を取得する。		「☆☆☆☆」以上を取得	1製品	☺
		新規ディスプレイ製品において、エナジースターV5.0取得率を期末までに80%以上とする。 ※除外製品 3Dなどの特殊機能を備え、その機能により消費電力が増加するモニターや大型モニター、ACアダプター採用製品でエネルギー効率規制レベルIV品は除外とする。	<対象製品カテゴリ> 液晶ディスプレイ	80%以上	100%	☺
		新製品の単位あたり梱包材質量の削減に取り組む。単位あたり質量は平均2gを目標とする。	<対象カテゴリ> 液晶ディスプレイ メモリーモジュール USBメモリー、メモリーカード	平均2g	平均1.09g	☺
		36期起案製品に関して、既存製品よりも「低消費電力」、「小型」、「軽量」となる製品、または「省電力モード」を搭載した製品を60%開発する。(容量追加はカウント対象外とする)	<対象製品カテゴリ> スイッチングハブ	60%	64%	☺
		当社製品環境アセスメント基準の製品本体に関する項目を4つ以上クリアする。 ※ただし、新規開発製品のみとする。	<対象カテゴリ> ハードディスク、ネットワーク ブルーレイ・DVD キャプチャー・グラフィック	平均4項目クリア	平均4項目クリア	☺
		機構、包装設計における、3Rを軸とした、環境配慮設計の調査結果からチェックリストを正式リリースし、機構設計基準書、一般包装設計基準書及び製品環境アセスメント基準書を改版と教育。		100%	100%	☺
	(2) 事業活動に使用する電力・灯油などの省エネ活動を実施する。	電気・灯油の使用量を基準値よりCO2換算で12.0%削減する。 ( <small>&lt;基準値&gt; (本社・第2ビル・31期実績値)+ (アイオーラボラトリ・35期実績値)</small> )	12.0%	13.4%	☺	
		環境配慮したシステム設計・導入、運用変更を行う。(年3件)	3件	3件	☺	
	(3) 事業活動で発生する廃棄物のリサイクル・適正処理に努める。	廃棄物を削減するため、廃棄物の総排出量を35期比25%削減する。	25%	25.6%	☺	
		社内不要物を買取業者に払出しする事で、本社ビルからの機械類廃棄を低減する。質量ベースで33期比50%減。	50%削減	78.6%削減	☺	
	(4) 事業活動で使用する生産材の効率的な利用に努める。	組替オーダーの件数及び対象個数を35期結果の5%減とする。 ※名入れ、不具合の組替を除く。	5%削減	26%削減	☺	
		(5) 環境に関する情報開示に努める。	各課で計画する新製品(リテール)の営業/顧客向け製品プレゼン資料(出荷月内に準備)へ、「売り」となる環境訴求を1ページ記載できる製品数を累計30%用意する。	<対象カテゴリ> ブルーレイ・DVD キャプチャー・グラフィック	30%	56%
	環境報告書の公開など環境側面PRを年間3件行う。また、事業戦略部と連携して年間2件の環境側面の情報公開を行う。		3件	3件	☺	
	環境側面のPRとなる事項を開発から情報をとり、広報販推部にその情報を提供する。年間2件行う。		2件	2件	☺	

【総評】36期は設計開発による環境配慮設計に加え、製品コンセプトに省エネなどの機能をお客様に訴求する取り組みが多くできました。また、廃棄物を削減するために、以前より機械類を資源として再利用していますが、木製パレットも再利用が可能となり、有効活用することができました。全社的な取り組みとして、節電、省エネについて社員への啓蒙活動を行うことによりCO2の削減目標も達成できましたが、更なる意識向上のためには、具体的な指導を行うなどの工夫をもっと行っていく必要があります。目標はすべて達成できましたが、新たな課題も踏まえ、更にステップアップした目標に取り組んでいきたいと考えています。

## ■ 環境マネジメントシステムの状況

2002年1月、地球の環境保全を目的とした国際規格である『ISO14001』の認証取得し、PDCAのサイクルを基盤とした環境マネジメントシステムを構築しました。環境方針を基に各部門で目標及び実施計画を立て→運用→監査→マネジメントレビューといったサイクルによる継続的な改善を実行しております。また、毎月環境委員会を開催し、各部門の実施計画の進捗状況や報告、教育、環境に関する重要事項の審議・決定を行っております。



## ■ リコーCMS認証



近年、化学物質関連の規制が厳しくなっています。特に企業においても化学物質をいかに管理するかが問われてきています。このような情勢の中、当社では、規制の遵守は当然として環境負荷の少ない安全な製品を提供し続けるため、株式会社リコーの化学物質管理システム(CMS)の認証を2008年7月に取得しております。

## ■ PCグリーンラベル2011年度版取得

当社は一般社団法人パソコン3R推進協会の策定する「PCグリーンラベル」企業審査に合格し、液晶ディスプレイの対応製品を提供いたしております。



「PCグリーンラベル」制度はパソコン及びディスプレイが対象で、設計・製造からリユース・リサイクルに至るまで、環境に対する包括的な取り組みを表した環境ラベルです。

2010年4月より消費者にさらなる環境情報の提供を行い、環境配慮型パソコンを普及促進することを目的に環境性能が可視化されました。環境性能とは、省エネ(地球温暖化対策)、化学物質管理(環境汚染、健康被害対策)、3R(資源枯渇対策)の3本柱の評価項目(加点項目)のことで、この加点項目の達成状況に応じて、環境性能レーティング(星マーク)で格付けが行われます。環境性能レーティングとは、★☆☆は達成率35%未満、★★☆は35%以上70%未満、★★★は70%以上を示します。なお、適合製品の審査基準との適合性については当社の責任です。

### ■ 環境配慮型ディスプレイとは

環境(3R)に配慮した設計を行うこと

環境関連情報を開示すること

使用済のディスプレイの引き取りやリユース、リサイクルの適切な処理がされていること

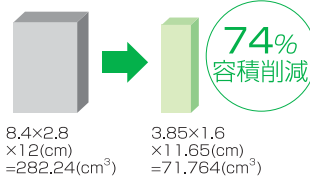
環境配慮型製品情報

環境配慮型製品情報(2011)	
製品名(品名)	液晶ディスプレイ(2011年度版)
メーカー	リコー
型番	ED-2011001
製品仕様	2011年度版
製品URL	http://www.ricoh.com/eco/3r/
評価項目	省エネ(地球温暖化対策) 35%未満 化学物質管理(環境汚染、健康被害対策) 35%以上70%未満 3R(資源枯渇対策) 70%以上
環境性能	★★★
備考	本製品の環境性能は、2011年度版の審査基準に基づいて評価されています。2012年度版の審査基準が変更された場合は、2012年度版の審査基準に基づいて評価されます。

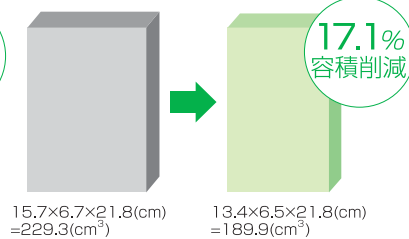
## パッケージサイズを小型化

以下のパッケージサイズを小さくして容積の削減を行いました。リデュースに加え、輸送コストの削減も行いました。

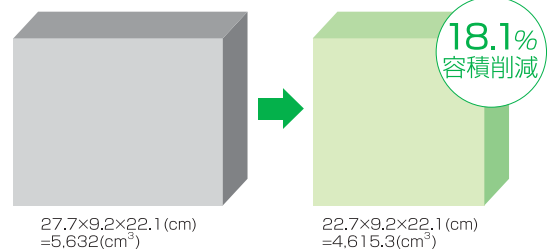
### ■USBメモリー



### ■2.5インチポータブルハードディスク

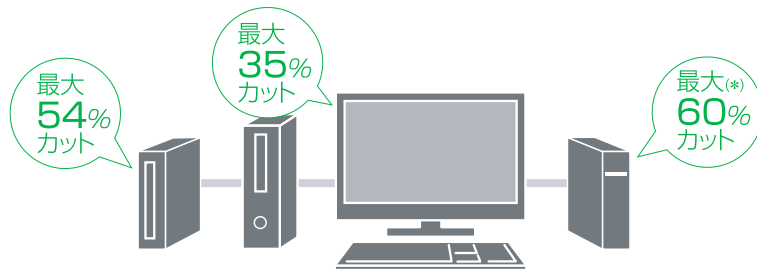


### ■3.5インチハードディスク



## 節電アプリ「エコ番人」で、電気代が約半分に!

「エコ番人」は液晶ディスプレイ、ハードディスク、光ディスクドライブの総合版節電アプリケーションです。「エコ番人」を使うと対象製品の消費電力を大幅に削減でき、環境にも電気代にも優しく製品を使用できます。また、幅広い機器での一括節電が可能となり、まとめて実施することで節電効果を高めることができます。



(\*)  
 ■測定方法  
 HDCA-U2.0に対して節電アプリ「エコ番人」を使用し、AC消費電力測定を行う。エコ番人有効時に製品がIdle状態から省電力モードになった際の消費電力削減率を算出する。  
 ■使用機器  
 M/B:ASUS P5W DH Deluxe/WiFi AP、Chipset:Intel 975X/Intel ICH7R、CPU :Intel Pentium4 530 (3GHz)、Memory:DDR2 1GB、OS:Windows XP Pro SP3  
 ※パワーハイテスタの測定値 (avg値) を記録  
 ■測定環境  
 当社事務所

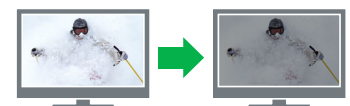
詳しくは当社ホームページ

## 比べてわかる「エコ番人」の節電効果!

### ■液晶ディスプレイで節電

液晶ディスプレイの消費電力に影響する一番大きな要素「輝度」を自動的にコントロール! パソコンで作業をしない状態で一定時間が経過すると、輝度が自動的に下がるように設定できるので、意識せずに節電効果を高めることができます。

### エコ番人がかんたん節電!



不在時は自動で輝度ダウン!

### 省電力モード有効時と通常時の液晶ディスプレイ消費電力の比較



### ■ハードディスクで節電

対応の当社外付ハードディスク及び、システムが入っていない内蔵ハードディスクの省電力モードを有効にすると、設定した時間、ドライブにアクセスがない場合、自動的にディスクの回転を停止し省電力モードになります。ディスクにアクセスすると自動的に再びディスクが回転するため、その都度操作する必要はありません。

### 省電力モード有効時と通常時のハードディスク消費電力の比較



■測定方法  
 HDCA-U2.0に対して節電アプリ「エコ番人」を使用し、AC消費電力測定を行う。エコ番人有効時に製品がIdle状態から省電力モードになった際の消費電力削減率を算出する。  
 ■使用機器  
 M/B:ASUS P5W DH Deluxe/WiFi AP、Chipset:Intel 975X/Intel ICH7R、CPU :Intel Pentium4 530 (3GHz)、Memory:DDR2 1GB、OS:Windows XP Pro SP3  
 ※パワーハイテスタの測定値 (avg値) を記録  
 ■測定環境  
 当社事務所

# 環境活動

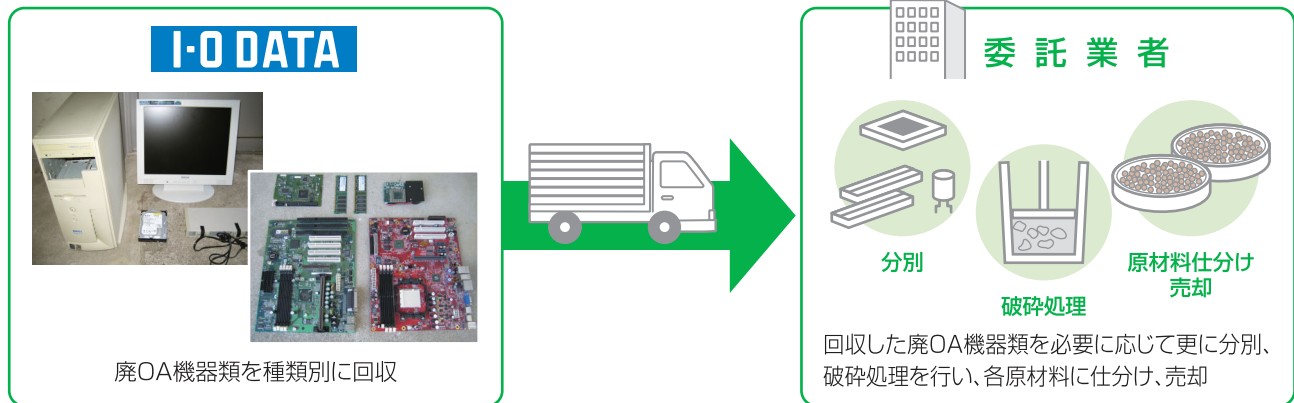
Environmental Activity

地球環境に配慮し、様々な環境活動を行っています。

## ■ 廃OA機器類 有価物としての引渡し開始

従来、産業廃棄物として年間約30t排出していた廃OA機器類（PC、液晶モニター、ケーブル等）を、2010年8月より一部を有価物として引渡しする運用を開始しました。

本運用開始により、年間約18tの産業廃棄物排出量を削減する事ができました。



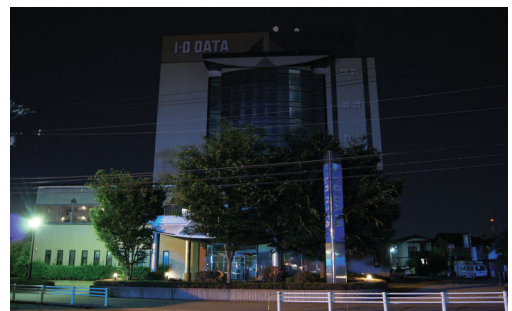
## ■ 昼も。夜も。節電ライトダウン2011に参加(2011年6月22日～8月31日)

当社は、環境省が呼び掛ける「CO<sub>2</sub>削減/ライトダウンキャンペーン」に毎年参加しており、2011年は、特に節電が求められる夏場を対象とし、従来の夜間だけでなく、昼間も自主的にライトダウンを行う「昼も。夜も。節電ライトダウン2011」に参加しました。

昼は室内照明を、夜間はネオン看板の消灯を行い、トータルで約3,088.7kwhを削減。

CO<sub>2</sub>排出量に換算すると、約1.2t-CO<sub>2</sub>※の排出量を削減しました。

※3,088.7kwh(電力使用量)×0.000374t-CO<sub>2</sub>/kwh(排出係数)≈約1.2t-CO<sub>2</sub>



## ■ 県民エコライフ大作戦2010へ参加(2010年11月22日～12月21日)

「県民エコライフ大作戦」とは、石川県民が力を合わせて身近な地球温暖化防止に取り組む活動であり、アイ・オー・データ機器も企業として昼休み時間の消灯、ウォームビズの実践など、環境保全活動を積極的に取り組み、地球温暖化防止に向けた活動を行いました。

## ■ 取引運送業者様に環境負荷低減を呼びかけています

### ● 名鉄運輸株式会社 様

- エンジンストップ式車輛を随時導入中。
- 資源のリサイクル推進、廃棄物、排出物の削減を図り、環境負荷の低減並びに環境汚染の予防に努めると共に環マネジメントシステムの継続的改善。

### ● 佐川急便株式会社 様

- 排出ガスによる地球温暖化、大気汚染を防止するため、輸送の効率化、低公害車の導入、エコドライブの実践を推進し、環境保全のための継続的な改善。
- 省資源・省エネルギー・3Rの推進。

### ● その他運送業者 様

- 総務省案件の外注納品を廃止し、輸送距離を低減しました。
- 搬入時のアイドリングストップ推進。
- 過積載にならない範囲で、積載効率の高い配送を心掛けています。

# 地域貢献活動

Regional Contribution Activity

## ■ 犀川清掃ランニング(ウォーキング)

- 日時：2011年4月29日(金) 6:00~8:00
- 場所：金沢市犀川
- 主催：犀川両岸健康利用推進会(犀健会)

4月下旬、地元犀川を綺麗にしようという「犀川清掃ランニング(ウォーキング)」という清掃活動があり、金沢市の一企業市民として当社も参加しました。

早朝6:00、当社社員は39名が参加し、他の参加者たちと一緒に犀川河畔を清掃しながら歩きました。一部大きなゴミは存在しましたが、ほとんどゴミは落ちていませんでした。これは普段から地元の方々によって行われている犀川の清掃活動が実を結んだ結果であり、今後も維持していくことは非常に大切であると感じさせられました。



## ■ 新入社員美化清掃活動

- 日時：2011年4月15日(金) 13:00~15:00
- 場所：アイ・オー・データ機器 本社周辺
- 主催：アイ・オー・データ機器

4月15日金曜日、今年は13人の新入社員とともに社屋近辺を清掃しました。煙草の吸い殻などたくさんのゴミを拾いましたが、例年以上に綺麗になり、心身ともに充実した時間を過ごすことができました。



### 新入社員に会社周辺清掃の感想を聞いてみました。

**井本さん** ●想像より町中が綺麗だったのが第1印象でした。しかし、いざ終えてみるとゴミがたくさん。「少しくらい、いいや」「自分だけじゃないし」という勝手さの積み重ねが、社会全体のモラル低下につながるのでは、と実感しました。

**田中さん** ●今回いろいろなゴミを拾いましたが、煙草の吸殻が多かったことが気になりました。自分の身にも置き換えて、決してポイ捨てはしてはいけないと再認識しました。

**石瀬さん** ●普段意識していないせいか、ゴミなんてそんなにないだろうと思っていましたが、結果は逆でした。意識してみると溝の中や木の枝の間など至る所にゴミがあり、今後は「ここにゴミが落ちていそう」と意識して拾うことも必要だと思いました。

**稲田さん** ●特に感じたことが2点あります。1点目はゴミがゴミを呼ぶということ。大量のゴミがあるからそこに捨てることへの抵抗感が薄れるのではないのでしょうか。もう1点はゴミを見つけようとして歩くと普段全く気がつかないところに自然と目が行くという点です。意識1つで視野が広がるという点を学ぶことができました。

# 環境コミュニケーション

Environmental Communication

## ■ 節電対応ソフトウェア

節電のためにご提案させていただいたエコ番人やI-O Drive Centerは多くのお客様に使っていただけたようです。しかし、このようにもっと使い勝手を良くして欲しいとのご要望を受けております。当社開発部隊に伝え、より多くのお客様に満足していただき、更なる省電力ができるよう改善していきたいと考えています。

### 主な意見

#### ● I-O Drive Center

I-O Drive Centerの省電力設定の方法が難しい。

#### ● エコ番人

I-O Drive Centerとエコ番人の使い分けがわからない。

## ■ 法人様向け展示会にて節電コーナーを展示

2011年6月14日、「ITカンファレンス2011展示会」にて、エコ番人の節電効果をデモ展示しました。現在の消費電力がわかる装置を使用し、実際の使用効果を確認いただきました。





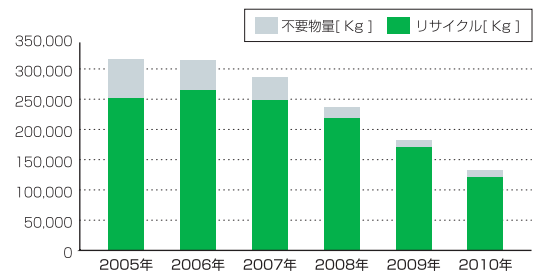
## 主要な環境パフォーマンスの指標の推移 ※1

報告対象期間(期=7/1~翌6/30)		2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
項目	単位						
電力使用量(本社のみ)	1,000kwh	1,795	1,779	1,748	1,741	1,711	1,661
電力使用量(営業所含む)	1,000kwh	-	-	2,152	2,125	2,007	1,953
灯油使用量	kℓ	195	166	159	150	150	160
CO <sub>2</sub> 排出量(本社のみ)※2	t-CO <sub>2</sub>	1,156	1,078	1,049	1,023	1,013	1,019
CO <sub>2</sub> 排出量(営業所含む)※2	t-CO <sub>2</sub>	-	-	1,207	1,174	1,130	1,134
リサイクル	kg	252,209	264,369	247,727	218,215	171,608	123,982
一般・産廃	kg	63,603	51,096	38,087	18,238	10,082	11,047
グリーン購入率	%	92%	90%	94%	92%	93%	94%

※1:報告が必要な温室効果ガス(非エネルギー起源CO<sub>2</sub>、メタン、N<sub>2</sub>O、HFC、PFC、SF<sub>6</sub>)の排出はありません。  
 ※2:CO<sub>2</sub>排出量のうち、電力の排出係数は、平成22年度排出量算定用電気事業者別排出係数の実排出係数にて全報告期間を見直ししております。

## 廃棄物の削減

廃棄物(不要物)の削減		2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
リサイクル率	目標	80%	80%	84%	90%	93%	-
	結果	☺80%	☺84%	☺87%	☺92%	☺94%	-
総排出量の削減	目標	-	-	-	-	-	25%
	結果	-	-	-	-	-	☺26%
不要物量	[Kg]	63,603	51,096	38,087	18,238	10,082	11,047
リサイクル	[Kg]	252,209	264,369	247,727	218,215	171,608	123,982
総排出量	[Kg]	315,812	315,465	285,814	236,453	181,690	135,029

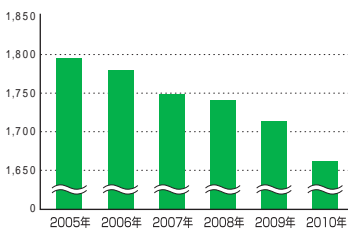


## 温室効果ガスの削減

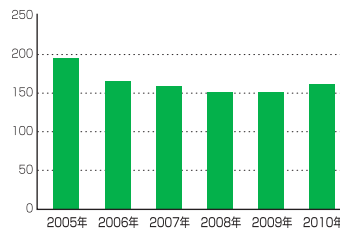
電力・灯油の削減		2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
CO <sub>2</sub> 換算での削減(2001年比)	目標	6%	5%	5.5%	-	-	-
	結果	☹3.8%	☺10.2%	☺7.3%	-	-	-
CO <sub>2</sub> 換算での削減(2005年比)	目標	-	-	-	10.0%	10.0%	12.0%
	結果	-	-	-	☺11.6%	☺13.3%	☺13.4%
電力使用量 [1,000kwh]		1,795	1,779	1,748	1,741	1,711	1,661
灯油使用量 [kℓ]		195	166	159	150	150	160
CO <sub>2</sub> 排出量 [t-CO <sub>2</sub> ]※3		1,156	1,078	1,049	1,023	1,013	1,019

※3:CO<sub>2</sub>排出量のうち電力の排出係数は、平成22年度排出量算定用電気事業者別排出係数の実排出係数にて全報告期間を見直ししております。

●電力使用量 [1,000kwh]



●灯油使用量 [キロリットル]



●CO<sub>2</sub>排出量 [t-CO<sub>2</sub>]



## 製品回収リサイクルの実績

期間	液晶ディスプレイ	プラント搬入質量 (kg)	プラント搬入台数 (台)	再資源化処理量 (kg)	資源再利用率 (kg)	資源再利用率 (%)
2005年4月~2006年3月	事業系	43	8	1,011	797	78.7
	家庭系	968	179			
	合計	1,011	187			
2006年4月~2007年3月	事業系	380	71	2,630	2,180	82.9
	家庭系	2,250	416			
	合計	2,630	487			
2007年4月~2008年3月	事業系	640	119	4,100	3,540	86.6
	家庭系	3,460	640			
	合計	4,100	759			

期間	液晶ディスプレイ	プラント搬入質量 (kg)	プラント搬入台数 (台)	再資源化処理量 (kg)	資源再利用率 (kg)	資源再利用率 (%)
2008年4月~2009年3月	事業系	1,050	194	4,950	4,250	85.9
	家庭系	3,900	721			
	合計	4,950	915			
2009年4月~2010年3月	事業系	1,131	209	9,051	7,827	86.5
	家庭系	7,920	1,464			
	合計	9,051	1,673			
2010年4月~2011年3月	事業系	1,022.5	189	11,566.6	9,593.1	82.9
	家庭系	10,544.1	1,949			
	合計	11,566.6	2,138			

## グリーン購入

事務用品の購入		31期	32期	33期	34期	35期	36期
グリーン購入率(金額)	目標	80%	90%	92%	-	-	-
	結果	☺92%	☺90%	☺94%	92%	93%	94%

※特に指定のない場合、表内の年の表記は、当年の7/1から翌年の6/30までとなります。